

2016アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[七尾市立小丸山小学校] 担当教諭名[八島 香苗] (3年1組 28名)

交流相手国[中国]

海外学校名[Jinhua Binhong Primary School] 担当教諭名[Yunqian Ye]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイルプロジェクト	25

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	守っていく文化
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	私たちが将来大切にしていきたい文化を考え、絵に表した。それを自分達の手で守っていこうというメッセージを込めた。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
一人一人が、相手国にどんなことを伝えたいのか、伝えるためにはどのような手段で伝えたらよいのかをよく考えることができた。相手国への興味関心を持つことができた。また、壁画の作成を通して、全員で協力して取り組むことの大切さを学ぶことができた。	荷物を送るだけで終わってしまったので、もう少し積極的な交流をすべきだったことが課題である。フォーラムでの活発な交流をすれば、子ども達は、もっと関わっている実感を持つことができたのではないかと。写真や絵のみでの交流だったので、動画をもっと使えばよかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
100人村ワークショップをすることで、世界に対して視野を広げる児童が増えた。9月からは本格的に交流が始まり、相手国に対して興味を持つ児童がすごく増えた。相手国から送られてきた、文化についてのイラストを、興味深くじっくりと見ていた。	自分自身が相手国について知らないことがとても多く、フォーラムで様々な文化について教えてもらってすごく面白かった。最初は英語でのやり取りに戸惑いが多かったが、メールやフォーラムで交流しているうちに、伝え合う喜びを感じられるようになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	カードにローマ字で自分の名前や好きなものの絵を書き、カードを持って写真を撮った。その写真をフォーラムに載せて自己紹介を行った。	好きなものを書く際に、「この絵で伝わるかな？」と、伝える手段について考えていた。	総合 3時間
共有 テーマ学習	5月 ～ 10月	学校の図書室にある図鑑や世界地図などの図書資料から中国の基本的な情報を集め、新たな疑問についてはインターネットで調べ学習を行った。	とても遠くにある国の友達と交流することに意欲が高まっていた。中国にある世界遺産を見てみたいと意欲を持つ児童も見られた。	総合 7時間
融合 メッセージ 壁画デザイン	10月 11月	わたし達が大切にしている文化である、「地域のお祭り」「学校の行事」について伝えたいという児童の思いを踏まえ、役割分担をして構図決定していった。	グループで構図を考えていったが、「〇〇は絶対に書いたほうがいいよ。」等アイデアをそれぞれで出し合って工夫していた。	総合 5時間
創造 壁画制作	11月 12月	グループごとに制作を進めていった。相手国とのつながりを意識して製作に取り組んだ。細かい所まで丁寧に作業していた。	苦手意識を持っている子はなかなか描きはじめることができなかったが、グループでアドバイスし合いながら作業する姿が見られた。	総合 8時間
評価 振り返り 自己評価	3月	1枚の絵が仕上がった感想を言ったり、日本と中国の絵の描き方の違いなどについて話し合ったりした。	まずは、服装の違いに注目した発言が多かった。違うところもあるが、お祭りを大切にしていきたいという共通の願いもあることに気づいた。	総合 2時間

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	伝えたいことを考える活動の中で改めて日本のよさについて考えることができた。
異文化の理解	A	4	知っているつもりで実は知らないことが多かった国について調べることで、新たな発見がたくさんあった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	3	交流の機会をもっと増やしてあげればよかった。テレビ電話等の交流もできればよかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	図書資料やインターネットを活用して、中国についての情報を収集することができた。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	A	4	学級内の人間関係は高まり、助け合ったり認めたりすることが増えたが、交流相手との関係が深まるような活動はできなかった。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	グループ活動をすることで、協力しようとする姿勢がたくさん見られた。
学習を追究する意欲	B	3	相手から送られてきた文化についてのイラストはとても興味深く見ていたが、自ら調べようとする児童は少なかった。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	A	4	構図や色使いなど、児童がこだわりを持って伝えたいことを絵に表すことができた。仕上げることで達成感を味わうこともできた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	A	3	一人ひとりに細かい観点で書かせることはできなかったが、一枚の絵が仕上がった感想や、交流できた感想を話すことができた。